

藝どころ名古屋で学ぶ  
第六回音響技術者のための

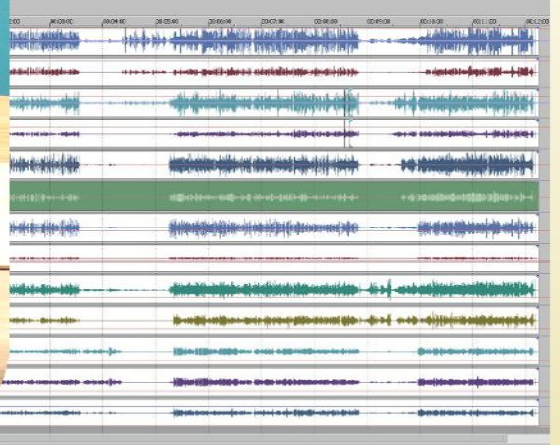
(有中)日本音響家協会中部支部主催

# 邦楽セミナー「三曲 part2」

日時:2009年2月23日(月)10時30分～16時30分

講座内容 第一部 基礎講座・三曲の歴史(生い立ちから現状まで)  
第二部 専門講座・各楽器の特性・奏法とマイキング  
第三部 実技講座・マルチトラック再生と生演奏でバランスを取ってみよう

講師:野村祐子 師(箏曲正絃社家元)＝演奏・正絃社社中＝  
犬塚裕道 氏(ステージ・ヴァンガード)



場所:「広小路ヤマハホール」 ヤマハビル7階

名古屋市中区錦1-18-28 TEL 052-201-5151

<http://www.yamaha-tokai.jp/nagoya/hall/index.html>



対象:音響家及び実演家(一般の方も受講可)

受講料:一般3,150円、学生1,575円(日本音響家協会々員無料)

主催:(有中)日本音響家協会中部支部

協力:(有)ザ・イアーズ(音響システム)

協賛:株式会社イーブイオーディオジャパン

株式会社エーアンドブイ

不二音響株式会社

ヤマハ株式会社

ローランド株式会社(五十音順)

問合せ:Tel. 090-1410-4094 また下記中部支部メールアドレス

申込み:受講は事前登録制です。氏名、所属、連絡先を明記して  
SEAS中部支部事務局までメールかFAXでお申し込み下さい。

Mail: [chubu@seas.or.jp](mailto:chubu@seas.or.jp)

FAX: 052-409-4580

## <ご案内>

日本音響家協会中部支部主催の邦楽セミナーは、音響家の教養・技術の向上だけではなく、講義を通して実演家の方々の音響に対する色々な意見・注文・お叱り等をいただき、音響家から実演家に対して適切な音響技術を提案することも目的としております。

第6回目の今回は、第1回に取り上げました「三曲」を、前回とは違った切り口で、さらに詳しく分りやすい基礎講座から専門講座までを企画いたしました。

なおこのセミナーは、主に音響家を対象としていますが、興味のある方であれば広く実演家や一般の方々にも受講していただける内容です。

あなたのスキルアップに必ず繋がる「邦楽セミナー」の受講を、向春の名古屋でお待ちしております。

## <邦楽セミナー実行委員長から受講のお勧め>

「三曲」とは、三曲合奏ともいい箏、三味線(三絃)、胡弓の三種又は箏、三味線、尺八の三種の楽器を用いて合奏することをいいます。江戸時代の末期には主として箏、三味線、胡弓を用いましたが、明治維新後は尺八が胡弓の代わりに用いられ、現在に至っております。(田辺尚雄著「邦楽用語辞典」東京堂出版より)

主催スタッフの一人である私も、勉強不足で邦楽セミナーを開催するまでよく知りませんでした。また、邦楽の世界には耳慣れない不思議な専門用語が沢山あります。このような専門用語を理解するのも現場にたつ音響家の勤めであると思います。

今回は、これまでのセミナー受講者から希望の多い、「実技の体験」をカリキュラムに取り入れ、マルチトラック再生と講師の実演のミックスバランスを、講義時間の範囲内でできるだけ多くの方に体験していただけるよう準備いたします。

また、恒例となりました実演家との意見交流で日頃の現場での疑問を講師の先生にぶつけてみて下さい。「三曲って何だろう」と思った貴方、是非参加下さい。スキルアップにつながると思います。

## <講師プロフィール>

◇野村祐子師: 箏曲作曲・演奏家の両親のもと、幼少から箏に親しんで育ち、3歳で初舞台。14歳より箏曲作品を発表、古典を基盤に現代の感性を取り入れた作風で、クラシックの楽しい編曲も多く、現在80余曲が公刊CD化。NHK邦楽技能者育成会第22期卒業。

1976年より野村峰山(尺八)とジョイントリサイタルを開催し、父・野村正峰作品のソリストとして、本拠地名古屋から、流派を越えて全国的に作品を広めるほか、リサイタル、正絃社合奏団コンサートはじめ、学校での指導、文化庁主催「本物の舞台芸術体験事業」にてセントラル愛知交響楽団との共演に活躍。

・名古屋市民芸術祭賞、名古屋市芸術奨励賞など受賞。

・2002年、野村正峰より正絃社二代家元を継承。

・野村正峰・祐子作品は、1970年代より主にビクター社にて邦楽器の生の音色にこだわりを持つスタッフによって録音され、数十枚が発刊されている。

愛知県立芸術大学非常勤講師、財団法人名古屋市文化振興事業団評議員、

愛知芸術文化協会・名古屋三曲連盟理事、現代邦楽作曲家連盟

関西邦楽作曲家協会会員。

◇犬塚裕道氏: 1986年3月より名古屋にて主に日本舞踊・現代舞踊・バレエなどの舞踊や演劇の音響、録音などの仕事をする。邦楽のSRや録音では実演家から信頼されており、舞踊の伴奏や三味線・箏など邦楽器のバランスにはSR・録音共に定評がある。

・2008年7月ステージヴァンガード設立

・SEAS中部支部「邦楽セミナー」第一回から講師を担当。

・1級音響技術者(日本音響家協会)1級技能士(舞台機構調整音響調整作業)